

「記念樹の森」づくりで 里山再生へ！



嫁いらず観音「記念樹の森」(5月3日)

町内に繁茂する竹林を伐採し、里山の再生に取り組むボランティアグループ「ふるさと(里山)救援隊」(田中照敏代表、理事14名)は、久賀および沖家室において、孫や子の人生の節目に木を植える「記念樹の森」づくりをスタートしました。植樹会は、4月から5月にかけて久賀地区の延命の滝斜面と嫁いらず観音斜面、沖家室地区の泊清寺裏山において実施し、さらに大崎、長浦地区においては随時実施しました。記念樹木は、山桜、紅葉、梅などの他、県植物学会の南敦会長(同隊理事)のアドバイスにより、周防大島に適しているヤブ椿とキンモクセイも選択しています。

同グループでは、周防大島の里山再生を進めるため、記念樹の森づくりへの参加、および植樹用樹木の提供に御協力いただける方を募集しています。

◆問い合わせは、「ふるさと(里山)救援隊」田中さん(090・7505・0522)まで

巡回町長室開催

町長が各総合支所において、住民からのご意見を聴く巡回町長室が開催されました。

橘庁舎では、橘地区生活改善実行グループが活動状況を報告し、今後の予算編成等について質問しました。久賀庁舎では久賀老人クラブ連合会をはじめ5団体が訪問し、活動の報告や提言をしました。東和庁舎では自治会からの要望など6組の団体と個人の意見を聴きました。



橘庁舎(5月26日)



久賀庁舎(5月30日)



東和庁舎(6月1日)

上昇気流に乗ってフライト



周防大島町誕生後初めての大会となる「周防大島スカイカップ2005」が、橘ウインドパークで5月28日、29日に開催されました。

昨年まではサマーミーティングインオオシマという大会名でしたが、合併を機に名称を一新。ハンググライダー、パラグライダー合わせて53人の選手が嵩山頂から飛び立ち、決められたポイントを通過する競技や着地の正確さで得点を決める競技で上位入賞を目指しました。